富士河口湖町立
教育センターだより
No.１７
令和３年１２月２２日
文責　古屋ひとみ

行って良かった 行かせて良かった
町内全ての小中学校の修学旅行が終了しました

コロナ禍ではありますが，できる限りの感染対策を講じて，修学旅行が実施されました。４月２１日，２２日の船津小学校を皮切りに実施されてきた修学旅行。12月１６日，１７日に実施された小立小学校を最後に町内全ての小中学校の修学旅行が終了しました。

中学校の修学旅行先は京都・奈良方面。小学校は，静岡・神奈川方面。どこの学校でも常に旅行先の感染状況を把握する中で，実施の判断を行い，滞りなくすべての行程を実施することができました。子どもたちは，親元を離れ，友達と寝食を共にし，旅先で様々な人と出会い，現地でしか体験できないことを通じて，多くのことを発見し，有意義な経験を積むことができました。

船津小 4/21,22

不安や心配がある中でも実施したことで，たくさんの学びがあった修学旅行。「行って良かった。行かせて良かった。」と思える貴重な時間となったことと思います。卒業まで３か月足らずとなりました。最高学年である皆さんのさらなる飛躍を期待しています。

大嵐小　10/7,8

湖南中 10/17,18,19

勝山中 7/9,10,11

大石小 10/6,7

西浜小 10/7,8

北中 10/11,12,13

河口小 12/2,3

勝山小 10/20,21

小立小 12/16,17

コキアでほうき作り　大嵐小学校
地域の方の力は偉大です

作ったほうきを持って記念撮影

大嵐地区在住の渡辺正利先生を講師に迎え，大嵐小学校全校児童がコキアのほうき作りに挑戦しました。このコキアは，正利先生が育ててくださった苗を全校児童で植えたものです。秋には真っ赤に色づき，みんなの心を癒してくれました。

正利先生の指導の下に，２人組になって作業を行い，苦労しながらも作り上げたコキアのほうき。今は，普段の生活の中で，手作業で何かを作り出すということはほとんどありません。こういう時代だからこそ，小さい頃からいろいろと経験を積ませていくことが大切です。見る人の心を癒してくれたコキアがほうきとして使える物に生まれかわる，なんて素敵なことでしょう。

こうした活動は，常に子どもたちのことを考えて指導・支援してくださる地域の方がいるからこそ実現できるものです。学校にとって本当に偉大な存在です。

コキアの苗を植える子どもたち

正利先生のご指導

全校でほうき作り

良いお年をお迎えください

一年間で一番長い2学期が終わり，冬休みがやってきます。

運動会，校外学習，修学旅行など，大きな行事や出来事がたくさんありました。そして，毎日の授業で多くのことを学んだ2学期であったと思います。

冬休みの間に新しい年がやってきます。たくさんの人のおかげで，今年一年過ごすことができたことに感謝し，新たな気持ちで新しい年を迎えてほしいと思います。

今学期も御支援・御協力ありがとうございました。皆様，良いお年をお迎えください。